

柏崎刈羽原子力発電所 指摘事項に対する回答整理表(工認)(緊急時対策所の耐震計算)

提出年月日:2020年6月23日
東京電力ホールディングス株式会社

NO	図書		指摘日	コメント内容	回答日	状況	回答	資料等への 反映箇所	備考
1	—	緊急時対策所の耐震性についての計算書に関する補足説明資料	—	2020/4/8	基礎スラブの解析モデルについて、柱及び壁の開口部のモデル化の考え方並びに基準地震動Ssに対する壁の剛性低下の考え方を説明すること。	2020/6/3	回答済	柱及び壁の開口部のモデル化の考え方について別紙2に追記しました。 また、V-2-2-15「緊急時対策所の地震応答計算書」に示すよう、5号機原子炉建屋は基準地震動Ssについて弾塑性解析を実施しているが、基礎スラブの解析モデルでモデル化している壁(T.M.S.L.-1.1m~T.M.S.L.-17.5mの範囲)では、せん断スケルトン曲線上の最大応答値が第1折点付近で概ね弾性範囲の結果となっていることから剛性低下の影響はありません。	KK7補足-026-6改1 別紙2 応力解析におけるモデル化、境界条件及び拘束条件の考え方P.2-5
2	—	緊急時対策所の耐震性についての計算書に関する補足説明資料	P.別3-6	2020/4/8	上部構造からの曲げモーメントの載荷方法について、他の建屋との相違を踏まえ考え方を説明すること。	2020/6/3	回答済	基礎スラブへの曲げモーメントの載荷方法について、耐震壁のフランジ部分、ウェブ部分を含めて平面保持を仮定して、荷重入力している説明を追記しました。	KK7補足-026-6改1 別紙3 地震荷重の入力方法P.3-2